

教員プロフィール

太田 正孝 (オオタ マサタカ)



職位

教授

専門分野

国際ビジネス、異文化マネジメント

講義科目

国際マーケティング研究 (商学専攻)

国際マーケティングマネジメント演習・研究指導 (商学専攻)

グローバル・サービスビジネス演習 (ビジネス専攻)

経歴

1976 年早稲田大学第一商学部卒業、1978 年同大学院商学研究科博士前期課程修了、1982 年同大学院商学研究科博士後期課程単位取得満期退学。1992 年本大学商学部助教授、1994 年同学部教授。1984～85 年 Fulbright Graduate Program にて University of Illinois at Urbana-Champaign 留学、1999～2001 年 MIT Sloan School of Management 客員研究員。博士(商学)。商学研究科長(2004～08 年)、2008 年から早稲田大学常任理事(教務・国際担当)。

対外活動

[学会活動]

国際ビジネス研究学会 (Japan Academy of International Business Studies) 常任理事

Academy of International Business (AIB) 日本支部代表幹事

異文化経営学会(Transcultural Management Society) 理事

その他の所属学会: 日本貿易学会、国際ビジネスコミュニケーション学会

[社会活動]

大学基準協会経営系専門職大学院認証評価委員会 副委員長

異文化コミュニケーション研究会 SIETAR(The International Society of Intercultural Education, and Research)Japan 会長 (1993～1995年)

研究業績一覧

日本語

https://www.wnp7.waseda.jp/Rdb/app/ip/ipi0211.html?lang_kbn=0&kensaku_no=3612

英語

https://www.wnp7.waseda.jp/Rdb/app/ip/ipi0211.html?lang_kbn=1&kensaku_no=3612

主要著書一覧

『多国籍企業と異文化マネジメント』（単著）同文館出版、2008年

『国際ビジネス入門』（共編著）中央経済社、2008年

『新版 現代商業学入門』（共著）八千代出版、2001年

『国際商務論の諸問題』（共著）同文館出版、1998年

『多国籍企業論』（共著）八千代出版、1993年

研究テーマ

多国籍企業の異文化マネジメント、サービスビジネスの国際化プロセス、アジア新興市場における国際知識移転、シンガポール新興多国籍企業の組織学習

メッセージ

20世紀を席卷した効率性、規模の経済、合理性に依存する単純グローバル化は、21世紀に入ると、各国現地のアイデンティティ、ユニークな価値観、創造性との共生を志向する複雑系グローバル化(あるいはメタナショナル化)へとシフトした。その最大の原動力となったのが、1)アジア新興市場の台頭、2)サービスビジネスの本格的国際化、の2点であろう。生産基地であったアジア諸国が潜在力の高い市場となり、また従来はローカライザーであったサービスビジネスが本格的に国際展開することで、21世紀のグローバル市場は新たな成長局機会と高い不確実性の時空となっている。こうしたチャレンジングな競争環境にフィットするビジネスの在り方を探究することが、ビジネス・スクールが果たすべき使命の一つと考える。